

神奈川施保連ニュース VOL.101

発行人 神奈川県知的障害者施設保護者会連合会 会長 大矢 武久
編集同上広報部会 HP: <http://w01.tp1.jp/~a368318200/>



福祉の後退を許さない！真の共生社会を目指そう！
全国知的障害者施設家族会連合会
宮城県仙台市での全国大会inみやぎの報告

令和元年10月7日(土)8日、全国知的障害者施設家族会連合会(全施連)主催、第15回全国大会が仙台市・ホテルメルパルク仙台で開催され、全国各地から315名の参加がありました。なお、神奈川施保連から一般参加を含め13名が参加しました。

第1日目・開会行事・講演等

1開会行事

太田法夫宮城県連副会長の開会宣言の後、由岐全施連理事長から、今大会開催県である宮城県連皆様と宮城県障害団体関係者への謝意と、東日本大震災における障害者ならびにその家族へお見舞いを申し上げました。全施連発行の「地域共生ホーム」を道標として、新たな決意で迎える全国大会となります、という開会挨拶がありました。

続いて村井嘉浩宮城県知事(代読)、郡 和子仙台市長(代読)、井上博日本知的障害者福祉協会会長の来賓祝辞があり、開会行事は終了しました。

2震災報告

(1)山田初子宮城県連理事から東日本大震災復興報告がありました。
(2)語り部(大川伝承の会・高橋正子氏)から震災前・震災当日の様について紹介がありました。

3行政説明

厚労省社会援護局障害保健福祉課・小林靖課長補佐から最近の福祉行政に関する説明がありました。



4講演会

「地域共生ホーム」の著者である宗澤忠雄埼玉大学准教授、小賀久北九州市立大学教授、南守全施連副理事長の各氏から、書籍に関する講演がありました。なお、宗澤・小賀両氏の講演内容については、関東ブロック学習会報告を参照願います。

南氏からは、支援には「直接支援」と「環境整備支援」があり、環境支援は良くなるにいたらないこと。環境支援が十分に出来ないこと。環境支援が十分に出るということは、支援職員が利用者

者に保障すべき生活の質を見通しているからだということ。また、血の繋がりは無いが、暮らしの場で親密な関係を育み、持続的に生き生きと活動をする「親密圏」を作ることが大切であること。そして、第3章・第5章は施設関係者にぜひ読んで欲しいこと、という話がありました。

第2日目・全員参加型討論会等

1 全員参加型討論会等
司会・南守氏
ファシリテーター・
宗澤忠雄・小賀久両氏
コメントーター・
由岐透・奥澤時宗両氏
宗澤氏から昨夜の情報交換会の席上会員から質問があった、「自立と自律」の違いに関する説

明がありました。引き続き、家族代表である奥澤氏・由岐氏から「知的障害者のある人のこれからの住まいと暮らし」に関する発表がありました。そのあと全体討論が行われ、会場からさまざまな意見が出されました。

(注) 大会模様の詳細についてお知りになりたい方は、総務部会発行の「第15回全国大会inみやぎ・報告書」をご覧ください。

2 大会決議
大会決議案は一部修正の上、採択されました。(ホームページ参照)

3 全施連旗引き継ぎ
宮城県連から熊本県連に全施連旗が引き継がれました。

第2日目・全員参加型討論会等

司会・南守氏
ファシリテーター・
宗澤忠雄・小賀久両氏
コメントーター・
由岐透・奥澤時宗両氏
宗澤氏から昨夜の情報交換会の席上会員から質問があった、「自立と自律」の違いに関する説



リレー投稿

知的障害者生活介護型施設

横浜市松風学園の紹介

松風学園家族会 会長 阿部昭夫

横浜市松風学園とは

横浜市泉区上飯田町1987番地に、昭和35年児童施設として設置され、昭和40年に成人施設(定員50名)が併設されました。昭和58年成人施設として再整備され、施設入所支援100名、通所・短期入所30名になりました。現在の施設は、建設後約40年経過し、老朽化が進んでいるため、同じ敷地内に建て替えることになりました。

建て替え事業計画

平成30年度の「事業計画」で平成31年4月から建て替え工事が始まる予定でしたが、現在まで始まっていません。事業計画での部屋の面積が基準を満たしていないこと、トイレ・エレベーター等も新

基準になるということが、遅れの原因と考えられます。建て替え後は個室化により定員減になりますが、これを補うため学園用地に民間施設(社会福祉法人)を新設し、定員減を補う予定です。

家族会としては、現在の入所定員100名を確保するよう施設側に申し入れをしています。

家族会会員の高齢化により、要望等を起案することにも大変苦労していますが、松風学園家族会として頑張ります。

その他

・地域の行事や活動(スポーツ大会等)にも参加し、地域交流を行っています。
・行事としては、11月に「松風祭り」、12月に「利用者忘年会」を行っています。
以上

施設の沿革

昭和35年 「横浜市松風学園」(児童施設)設置
昭和40年 成人施設併設(定員50名)
昭和55年 児童部門が「横浜市なしの木学園」として独立移転
昭和58年 再整備(定員100名)
平成19年 障害者自立支援法に基づく「障害者支援施設」に移行

交通案内

☆相鉄いずみ野線「いずみ中央」下車徒歩15分
☆JR戸塚駅または市営地下鉄立涌駅より
(神奈川中央交通バス) 上飯田車庫行またはいちょう園地行
「児童公園前」下車徒歩5分
☆市営地下鉄立涌駅より
(神奈川中央交通バス) 長後駅行
「飯田」下車徒歩5分



横浜市松風学園



基本理念

松風学園は、一人ひとりが輝き、尊敬し、支えあう地域社会を実現します。

支援における考え方

- 1 利用者一人ひとりの「人権」を守り、個性を尊重します。
- 2 利用者の安全と安心を見守り、「利用者本位」の質の高いサービスを提供します。
- 3 利用者の「地域生活移行」を支援します。

職員構成

園長	1名	サービス管理責任者	2名
生活支援員	72名	看護師	5名
作業療法士	1名	栄養士	1名
事務職	3名	運転手	2名

利用案内

- 利用対象者、利用方法
直接当園までお問い合わせ下さい。
- 利用料

項目	生活介護	施設入所支援	短期入所
利用者定率負担額(1割)	障害福祉サービス受給者証の利用者負担上限月額に基づいて決まります。		
食費の自己負担額	減免なし	朝食 400円 昼食 650円 夕食 560円	朝食 400円 昼食 650円 夕食 560円
	減免あり	朝食 210円 昼食 300円 夕食 320円	朝食 210円 昼食 300円 夕食 320円
光熱水費(日額)	140円	140円	

施設見学、施設利用(体育館等)、実習、ボランティア等のご相談も随時受け付けております。お気軽にお問い合わせ下さい。(担当：地域支援係)

障害者支援施設/知的障害者生活介護型施設

横浜市松風学園

〒245-0018
横浜市泉区上飯田町1987
TEL 045(802)0441
FAX 045(803)4963